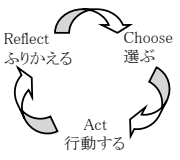


# PYP SYNOPSIS (概要)

UNITS OF INQUIRY 探究領域	TEACHER PLANNING 計画	ESSENTIAL ELEMENTS 学びに不可欠な要素				END RESULTS 最終結果	
	PLANNERS プランナー	KEY CONCEPTS キーコンセプト	KNOWLEDGE 知識	SKILLS スキル	ATTITUDES 態度・姿勢	ACTION 行動	LEARNER PROFILE 学習者像
<p><b>1. Who we are</b> <b>自主自律</b></p> <p>自分自身、信念と価値観、個人的・身体的・知的・社会的・精神的健康、家族・友人・コミュニティ・文化を含む人間関係、権利と責任、人間であることの意味の探究</p>	<p>Stage 1: What is our purpose? ねらいは何か</p> <p>Stage 2: What do we want to learn? 学びたいことは何か?</p> <p>Stage 3: How might we know what we have learned? どうすれば学んだということがわかるのか?</p> <p>Stage 4: How best might we learn? どのように学ぶのがいいのか?</p> <p>Stage 5: What resources need to be gathered? どのようなリソースが必要なのか?</p> <p>Stage 6: To what extent did we achieve our purpose? どの程度ねらいを達成できたのか?</p> <p>Stage 7: To what extent did we include the elements of the PYP? どの程度PYPの要素を学びに組み込むことができたか?</p> <p>Stage 8: What student-initiated inquiries arose from the learning? 学びの中で生徒のどのような自発的探究が見られたか?</p>	<p><b>FORM:</b> 特徴・構造 What is it like? どうなっている?</p> <p><b>FUNCTION:</b> 機能・役割 How does it work? なんのために?</p> <p><b>CAUSATION:</b> 原因・仕組 Why is it like it is? なぜそうなの?</p> <p><b>CHANGE:</b> 変化・変容 How is it changing? どう変わっていく?</p> <p><b>CONNECTIONS:</b> 関連・影響 How is it connected to other things? どうつながっている?</p> <p><b>PERSPECTIVE:</b> 視点・視野 What are the points of view? 別の見方は?</p> <p><b>RESPONSIBILITY:</b> 主体・責任 What is our responsibility? 私たちはどうするのか?</p> <p><b>REFLECTION:</b> 評価・反省 How do we know? 十分だといえるか?</p>	<p><b>Languages:</b> 言語(二言語以上)</p> <p><b>Social Studies:</b> 社会</p> <p><b>Mathematics:</b> 算数</p> <p><b>Science and Technology:</b> 理科</p> <p><b>PSPE:</b> (Personal, Social and Physical Education) 道徳 体育</p> <p><b>Arts:</b> Dance ダンス Drama 演劇 Music 音楽 Visual Arts 美術</p>	<p><b>THINKING:</b>(思考) 1. Acquisition of knowledge(知識の習得) 2. Comprehension(理解) 3. Application(適用・応用) 4. Analysis(分析) 5. Synthesis(統合) 6. Evaluation(評価) 7. Dialectical thought(弁証法的思考) 8. Metacognition(メタ認知)</p> <p><b>SOCIAL:</b>(人間関係) 1. Accepting Responsibility(責任を引き受ける) 2. Respecting others(他人の尊重) 3. Cooperating(協力) 4. Resolving conflict(対立や矛盾の解決) 5. Group decision-making(グループでの意思決定) 6. Adopting a variety of group roles(グループでのさまざまな役割を担う)</p> <p><b>COMMUNICATION:</b>(コミュニケーション) 1. Listening(聞く) 2. Speaking(話す) 3. Reading(読む) 4. Writing(書く) 5. Viewing(見る) 6. Presenting(発表する) 7. Non-verbal communication(非言語コミュニケーション)</p> <p><b>SELF-MANAGEMENT:</b>(自己管理) 1. Gross motor skills(総合的な運動スキル) 2. Fine motor skills(細かい運動のスキル) 3. Spatial awareness(空間認識) 4. Organization(準備周到) 5. Time management(時間管理) 6. Safety(安全) 7. Healthy lifestyle(健康的なライフスタイル) 8. Codes of behaviour(行動規範) 9. Informed choices(納得のいく選択)</p> <p><b>RESEARCH:</b>(リサーチ) 1. Formulating questions(質問を立てる) 2. Observing(観察する) 3. Planning(計画する) 4. Collecting data(データを集める) 5. Recording data(データを記録する) 6. Organizing data(データを関連づける) 7. Interpreting data(データを解釈する) 8. Presenting research findings(調査結果を発表する)</p>	<p><b>APPRECIATION:</b>(価値を認める) 世界と世界の人々の素晴らしさ、美しさをよく理解し、高く評価する。</p> <p><b>COMMITMENT:</b>(真剣に取り組む) 自分の学びに自律心と責任感を持って真剣に取り組む。</p> <p><b>CONFIDENCE:</b>(自信を持つ) 学習者としての自分の能力を信じ、難しいことに挑戦する勇気を持ち、学んだことを応用して、適切な判断と選択をする。</p> <p><b>COOPERATION:</b>(協力し合う) 協力、協同し、状況に応じてリーダーシップをとったり、指示に従ったりする。</p> <p><b>CREATIVITY:</b>(創造的に考える) 問題やジレンマに対して、創造的に、想像力を働かせて考え取り組んでいく。</p> <p><b>CURIOSITY:</b>(好奇心を活かす) 学びそのものや、世界、人々、文化に対して好奇心を持って取り組んでいく。</p> <p><b>EMPATHY:</b>(共感する) 他の人の状況を想像し、なぜ彼/彼女がそのような感情を持つに至ったかを理解し、他者のものの見方に心を開き、深く考える。</p> <p><b>ENTHUSIASM:</b>(熱中する) 学ぶことを楽しみ、自ら進んで努力する。</p> <p><b>INDEPENDENCE:</b>(自立する) 自立して考え、行動する。きちんとした根拠に基づいて自分で判断し、その判断に対して説明することができる。</p> <p><b>INTEGRITY:</b>(誠実に) 正直であり、思慮深い公正感を身をもって示す。</p> <p><b>RESPECT:</b>(尊重する) 自分自身、他者、そして私たちの身の回りの世界を尊重する。</p> <p><b>TOLERANCE:</b>(寛容に) 世の中の違いや多様性に対して敏感で、他者から必要とされることに応える。</p>	 <p>Reflect ふりかえる</p> <p>Choose 選ぶ</p> <p>Act 行動する</p> <p>Voluntary action based on needs of students and community</p> <p>子どもやコミュニティのニーズに基づいた自発的な行動</p> <p>Service: # To self (at home &amp; school) 自分自身に対して # To fellow students (in classroom, hallways &amp; playground) 友だちに対して # To staff スタッフに対して # To community コミュニティの人々に対して</p> <p>Community service 地域奉仕活動</p> <p>Charity work 慈善事業</p> <p>Environment Causes 環境問題への取り組み</p> <p>Reflection on actions taken 行動のふりかえり</p>	<p><b>INQUIRERS</b>(探究する人) 好奇心にあふれ、探究と調査のためのスキルを身につけている。自主的に学ぶことができる。生涯にわたって学ぶことを積極的に楽しむことができる。</p> <p><b>KNOWLEDGEABLE</b>(知識のある人) 地域や地球規模の重大な問題や事柄について、常に考えている。広くバランスのとれた学問領域について理解と知識を深めている。</p> <p><b>THINKERS</b>(考える人) 複雑な問題を認識し立ち向かうために、批判的かつ創造的に思考し、理性的で倫理的な判断を導き出せる。</p> <p><b>COMMUNICATORS</b> (コミュニケーションできる人) 様々な言語やコミュニケーションの手段を使って、考えや情報を理解し、自信を持って創造的に表現できる。まわりの人々と進んで協力し合い、効果的にものごとに取り組むことができる。</p> <p><b>PRINCIPLED</b>(正義感のある人) 誠実かつ正直で、公平な考えと道義感を持ち、まわりの人々や地域社会を尊重して行動することができる。自分の行動とその結果に責任を持つことができる。</p> <p><b>OPEN-MINDED</b>(心をひらく人) 自分の歴史や文化を理解し、尊重し、他の人々や地域社会の持つ伝統、価値観、視点に心をひらくことができる。常に色々な人の意見に耳を傾け、検討し、それらの経験から成長しようとしている。</p> <p><b>CARING</b>(思いやりのある人) ほかの人の気持ちや必要としていることに共感し、尊重し、慈愛を示すことができる。まわりの人々の生活や環境をよくするために、個人的に関わり、積極的に行動し奉仕し続ける。</p> <p><b>RISK-TAKERS</b>(挑戦する人) 不慣れた状況や不確実性に、勇気と気構えを持って進むことができる。今までにない、方策、考え、役割を試そうとする自立的な精神を持っている。恐れず自分の信念を明言することができる。</p> <p><b>BALANCED</b>(バランスのとれた人) 自分とまわりの人々が幸せな生活を送るためには、知・情・体のいずれもが大切であることを理解している。</p> <p><b>REFLECTIVE</b>(ふりかえりができる人) 思慮深く自分自身の学習や経験を見つめ直すことができる。自分の学びや成長を支えるために長所と限界を理解し、評価することができる。</p>
<p><b>2. Where we are in place and time</b> <b>時空因縁</b></p> <p>見当識、個人的な歴史、家・故郷と旅、人類の発見・探検・移住、地域及び地球規模から見た個人と文明の関係や相互関連の探究</p>							
<p><b>3. How we express ourselves</b> <b>意思表現</b></p> <p>考え・感情・性質・文化・信念・価値観を知って表現する方法、過去を振り返り創造力を伸ばし楽しむ方法、美を愛でることの探究</p>							
<p><b>4. How the world works</b> <b>万象究理</b></p> <p>自然界とその法則、自然界(物理的・生物的)と人間社会の相互作用、人間がどのように科学的法則を利用するか、科学技術の発展が社会や環境に与える影響の探究</p>							
<p><b>5. How we organize ourselves</b> <b>社会寄与</b></p> <p>人間が作った仕組みとコミュニティとの関わり、組織の構造や役割、社会的な意思決定、経済活動とそれが人類や環境に及ぼす影響についての探究</p>							
<p><b>6. Sharing the planet</b> <b>共存共生</b></p> <p>限りある資源を他の人々や生き物と共有するための権利や責任、コミュニティ内及びコミュニティ間の関係、機会均等、平和と紛争解決の探究</p>							